



2023年6月20日

各 位

会 社 名 ク リ ン グ ル フ ア ーマ 株 式 会 社  
住 所 大阪府茨木市彩都あさぎ七丁目7番15号  
代 表 者 名 彩都バイオインキュベタ207  
代 表 取 締 役 社 長 安 達 喜 一  
(コード番号:4884)  
問い合わせ先 取締役経営管理部長 村 上 浩 一  
TEL. 072-641-8739

### 日本バイオテク協議会理事就任のお知らせ

2023年6月19日に開催されました一般社団法人日本バイオテク協議会第4回定時社員総会において、当社代表取締役社長 安達喜一が理事に就任しましたことをお知らせいたします。

安達喜一は次のようにコメントしております。

「この度、日本バイオテク協議会の理事を拝命することになりました。日本には優れたサイエンスが存在し、医薬品や医療機器として社会実装するべく多くのバイオテク企業が日夜奮闘しています。今後、会員各社、関連諸団体、関係省庁等と連携しながら、日本のバイオテク業界の発展、競争力の強化を通じて日本発のイノベーションを世界に発信することに寄与できるよう、微力ながら尽力してまいります。」

#### 日本バイオテク協議会について <http://samurai-biotech.jp/>

官民対話を通じてバイオテクの推進を図り、我が国の医療への貢献並びに医療産業及び会員各社の健全な発展に寄与することを目的とし、2009年7月にバイオテク関連企業20社が結集して任意団体として設立され、その後、2019年4月に一般社団法人化されました。

2023年3月末現在、会員数は46社（会員42社、賛助会員4社）を数え、会員各社は、国民経済や国家財政と深く関わりあいながら、医薬品、医療機器、再生医療等製品、医療技術など、医療分野のイノベーションに積極的に取り組んでいます。

#### クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾病を対象にHGFタンパク質医薬品の自社開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、当社が有するHGFタンパク質医薬品の開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする開発と、声帯瘢痕を対象にした開発の2つのいずれもが、それぞれ医薬品開発の最終段階である第Ⅲ相臨床試験に進んでおります。

当社は、HGFタンパク質性医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。

以 上